

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第9時(9時間取り扱い)

台形の面積を求める公式を
理解することができる！

本時の授業の概要

既習の求積方法をもとに台形の面積を求める発展学習である。台形の面積を求める考え方を公式にまとめ、面積を求められるようになるとともに、面積の学習をより深める。

本時の目標

台形の面積の求め方を考え、公式を作ることができる。

活用場面

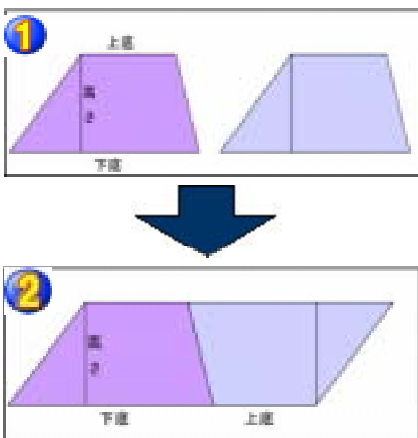
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



どうすれば台形の面積を求めることができたか確認する。

① T : この台形は、このままでは面積を求めることができませんでした。どのようにして台形の面積を求めましたか。

C : 2つの同じ台形を組み合わせて平行四辺形をつくりました。

T : 平行四辺形の面積なら求めることができますね。

C : 2つの同じ台形を組み合わせて平行四辺形をつくったので、求める台形の面積は平行四辺形の面積の半分になります。

台形を平行四辺形に変形することにより、台形の面積を求めることができることを確認する。

② T : どこの長さがわかると台形の面積が求められますか。

C : (画面を指しながら)ここ(上底)とここ(下底)とここ(高さ)です。

T : それぞれ、上底、下底、高さといいます。この3つの長さを使ってどうしましたか。

C : 上底と下底をたしたものに高さをかけて、さらに半分にする。

T : 台形の面積の公式は(上底 + 下底) × 高さ ÷ 2 になります。

【ワンポイントアドバイス】

デジタルコンテンツを途中で止めながら、児童の発言をもとに、本時の学習を振り返りたい。

公式を覚えるだけでなく、どうして公式が使えるかを理解していることの大切さを伝えたい。

【サイト情報】

<http://devi123.hp.infoseek.co.jp/sano/sannsuu.html>

「パソコンでおべんきょう」

